

頑張れ北中



令和6年度 重点目標

教師と生徒の関わりと自信がみられる学校づくりの推進

美幌北中学校だより No.7

令和6年9月20日

文責：校長 森 敦

学校Tel 73-2441

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力学習状況調査の結果が発表されました。本校においては国語、数学ともに昨年同様、全国平均を大きく下回る結果となっているものの、国語について昨年度よりも全国との差が改善されるなど、取り組みの成果が少しずつではありますが、表れています。

裏面に分析結果と改善策を掲載いたしました。学校では掲載した取組を進めて参りますが、家庭においても分析や改善策などについて、お子様と話をしていただき、家庭での取組を進めていただけると、より成果が期待できます。今後も家庭と協力しながら学力向上に努めて参りますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

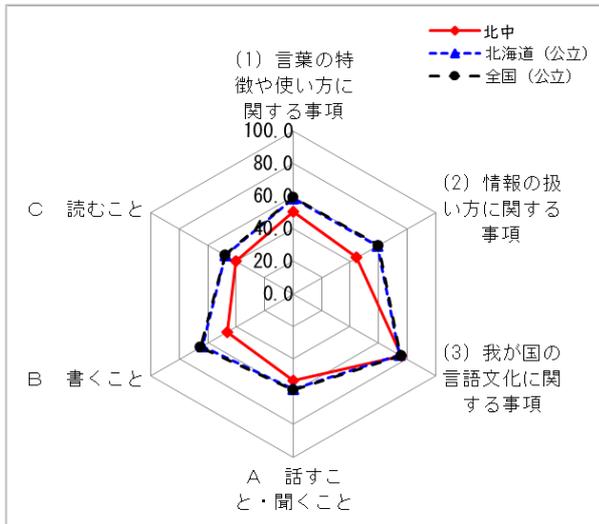
*左のグラフ：各領域の平均正答率の状況

*右の表：全国との比較 ◎大きく上回っている ○上回っている - 同程度

▽下回っている

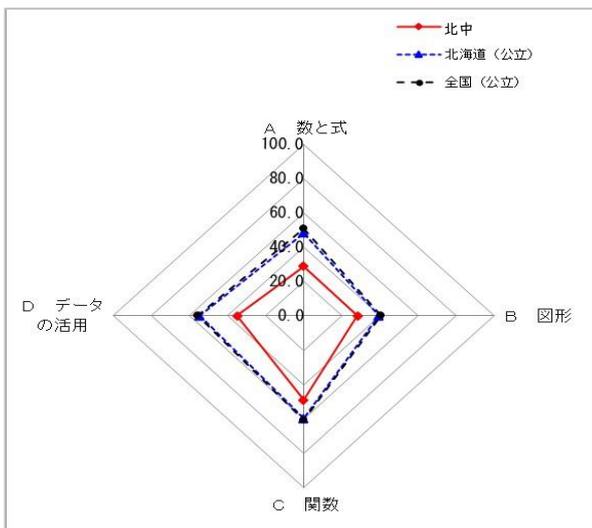
▼大きく下回っている

【国語】



分類	言葉の特徴や使い方に 関する事項	比較
内容	知識・技能	▼
	情報の扱い方に関する事項	—
容	我が国の言語文化に関する事項	—
	思考力・判断力・表現力	▽
	話すこと・聞くこと	▽
評価の観点	書くこと	▼
	読むこと	▽
問題形式	知識・技能	▽
	思考・判断・表現	▽
	選択式	▽
	短答式	▽
	記述式	▼

【数学】



分類	数と式	区分	比較
領域	図形		▽
	関数		▽
	データの活用		▼
評価の観点	知識・技能		▼
	思考・判断・表現		▼
問題形式	選択式		▽
	短答式		▼
	記述式		▼

令和6年度 全国学力・学習状況調査分析

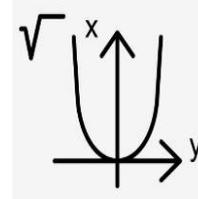
【国語】

分析結果	<p>全国・全道平均は下回ったものの、話し合いに関する問いや、資料や図を用いたり結びつけたりして考える問いについては正答率が比較的高い傾向にありました。単元内に位置づけている言語活動で力がある程度養われたと考えます。一方、「書く」「記述」に関しては全国平均の半分以下という結果になりました。どの問題も8割の生徒は回答しようと試みてはいますが、出題者の意図に反していたり、条件を満たしていなかったりという部分で正答に至らないことが多く見受けられました。</p>
改善策	<p>作文や感想など学校生活において自分の意見を『書く』機会が多いものの、設問に応じた記述をする力に結びつきませんでした。はじめて読んだ文章や問題から出題者の意図に沿って読み取る力、解答に必要なキーワードを見つける力が必要であるため、朝読書や授業で色々な形態の文章に触れさせていきます。また、短作文や意見文などを言語活動の中に多く組み込み、条件や問題文を基に「書く」機会を多くしていきます。</p>



【数学】

分析結果	<p>数学科では、関数分野の正答率が他分野よりも全国・全道の平均に近く、特にグラフの傾きや交点の意味を事象に即して読み取る設問では正答率が高い結果となりました。一方、各領域において「説明する」「証明する」といった、筋道を立てて表現したり、記述したりすることに課題がありました。</p>
改善策	<p>習熟度別授業を生かし、生徒の実態に応じながら基礎基本の定着をさらに進めていきます。具体策として、単元末に限らず授業の後半部に練習時間を厚めに設けることで、「基本的な知識・技能」の習得はもちろん、「数学ならではの表現法」や「論理的に考え説明する力」の定着を目指します。また、図形の証明問題など論理的に筋道を立てて説明する力の定着を図る授業を行っていきます。</p>



【生徒質問紙から】

分析結果	<p>「自分には良いところがあると思いますか」という質問に対して上位評価をしている生徒が85.7%と全国平均82.9%よりも高い数値となっています。また「困っている人がいるときは助けてほしい」という質問でも90%の生徒が上位評価となっており、こちらも非常に高い数値となっています。学校生活に満足し、相手のことを考えながら生活している生徒が多いことが伺えます。</p> <p>一方、4時間以上ゲームをする生徒が25.7%と全国平均の16.6%を大きく上回っていたり、SNSや動画の視聴時間が3時間以上の生徒も42.9%と全国平均の32.5%を大きく上回っているのに対し、家庭学習の時間は平日2時間以上している生徒が11.4%と全国平均の31.7%を大きく下回っています。メディアの使用や家庭学習の取組には課題がみられます。</p>
改善策	<p>メディア使用の時間をコントロールできるようにするためにも、家庭におけるルール作りが必要です。家庭学習では自分の課題を把握し、その克服に向けて学習に取り組むなど、主体的に学習を進める姿勢が身につくよう働きかけていきますので、家庭でも声掛けをお願いいたします。3年生は本格的な受検体制に入り、実力をたくわえていく時期になりました。家庭学習の時間は学年+1時間とされています。義務教育の学習内容を定着させ、高等学校入学後の学習に備える必要があります。</p>

